

ムラタでは、製品をお客様にお届けする際の物流における環境負荷を最小限に抑えるよう、モーダルシフトの推進や梱包・包装の削減などに努めています。

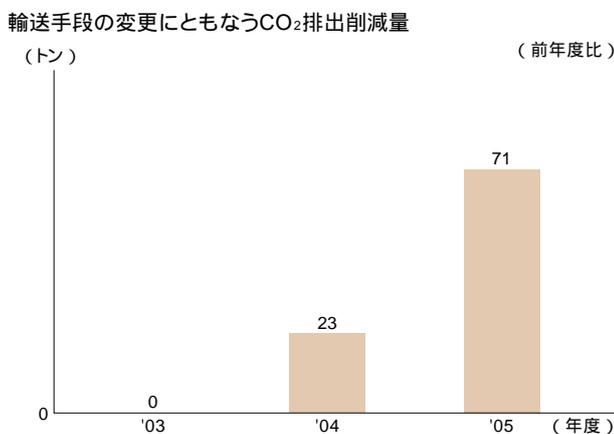
物流における環境負荷削減

ムラタの物流における環境負荷は、燃料使用によるCO₂排出量が最も大きいため、輸送効率向上やモーダルシフトなどの取り組みを進めています。また、製品の出荷における包装材料の削減にも取り組んでいます。どちらも実質売上高原単位で2000年度比20%削減することを2006年度の目標にしています。

輸送時における取り組み

2005年度は、新たに3つの輸送ルートにおいて輸送手段をトラックから鉄道に切り替え、1つの輸送ルートにおいて共同配送を始めました。これにより、CO₂排出量を2004年度に比べ71トン・CO₂削減することができました。また、実質売上高原単位では、2000年度比で82%まで削減しました。これまでは委託先による省エネルギー運転とモーダルシフトを展開してきましたが、今後のさらなる削減に向けてはトラック1台あたりの積載効率の向上と共同配送の拡大が重要であることから、2006年度は国内物流網の再編取り組みを開始します。

物流時のCO₂排出量の推移(国内)



包装材料削減の取り組み

技術革新にともなう製品の小型化により、使用する包装材料も少なくすることができます。例えば、当社の主力製品である積層セラミックコンデンサの小型化は、過去5年間で約22%の使用量削減に貢献しました。2005年度は、実質売上高原単位2000年度比で80%に削減することができ、すでに2006年度目標を達成しました。

また、包装用ダンボール箱の通い箱化にも取り組んでおり、社内取引のリール品について社内8工場、全体の約50%に展開しました。2006年度は社内100%展開するとともに、お客様への納入品にも展開できるよう働きかけていきます。

包装材料の使用量

製品小型化にともなう包装材料の削減 (トン)

